

Press Release:2012.10.19

## make a mistake in choosing

国谷 隆志展 Kunitani Takashi Exhibition

2012年11月3日(土) — 11月18日(日) 11:00~19:00 月曜休廊



【画像01】

Untitled (Yellow) 2011 ガラス、アルゴン、水銀  
「MARS」・Gallery PARC 2011  
photo: 草木貴照

### ご案内

ギャラリー・パルクでは、11月3日から18日まで、「make a mistake in choosing:国谷隆志展」を開催いたします。

京都を拠点に活動続ける国谷隆志(くにたに・たかし / 京都・1974~)は、これまでおもにオブジェや彫刻を中心としたインスタレーションによる発表を続けており、作品の在る空間の性質を顕在化し、変容させるサイト・スペシフィックな作品展開は、これまでに多くの注目を集めています。とりわけネオンを用いた一連の作品は、作品と鑑賞者を取り巻く空間に「ある環境や状態」を創出するとともに、空間に内包される鑑賞者の身体感覚により強く働きかける試みとして展開しています。

私たちが毎日のように目にするネオン(サイン)。その多くは広告物として「絵や文字」の意味を持ち、それらが「見られ・読まれる」ことでその役割を果たしているといえます。多くの人にとってネオン(管)そのものを間近で見る事は少なく、その鮮やかで鮮烈な光の正体は不明のままに、それらは既知のものとして認識されています。

昨年のPARCでの個展「Mars」に続く本展は、そのタイトルを「make a mistake in choosing」(選択に失敗する)として、モノ・空間・鑑賞者の間にある認識・理解にまつわる予定調和を攪拌し、そこに交わされるすべてを「ディスコミュニケーション」として指し示すものです。

会場に並べられたネオンは、不自然な光を放つ抽象的なオブジェクト(モノ)として鑑賞者の目の前に存在します。認識・理解のためのプロトコル(相互の規定・手順など)不在の場において、鑑賞者はそれぞれの身体の位置や視線(知覚)によって、目の前の状態・自身を内包する空間への再認識を必要とするのではないのでしょうか。また、その過程でオブジェクトは、ある瞬間には曲げられたガラス管として、また、ある瞬間にはテキストという意味を取り戻しながら、鑑賞者の認識の中に変化し続けます。

会場内に展開する光のオブジェクトを前に、見ることと読むこと、知覚と認識、形状と意味などが「常にズレ続ける」感覚を体験いただければ幸いです。

## Press Release:2012.10.19

# make a mistake in choosing

国谷 隆志展 Kunitani Takashi Exhibition

2012年11月3日(土) — 11月18日(日) 11:00~19:00 月曜休廊

本展の周知・広報にご協力頂ける際に、広報用画像をご用意しております。本リリース掲載画像からご希望の画像番号および掲載媒体情報を明記の上、[【info@galleryparc.com】](mailto:info@galleryparc.com)迄ご連絡ください。尚、個人の鑑賞および利用を目的とする場合は、画像の貸出しはお断りしておりますのでご了承ください。

展覧会名 make a mistake in choosing 国谷 隆志 展

出品作家 国谷 隆志(くにたに・たかし) 作家HP[【http://takashikunitani.com】](http://takashikunitani.com)

会 期 2012年11月3日(土) — 11月18日(日) 11:00~19:00 ※月曜休廊

主 催 Gallery PARC

料 金 無料

展示内容 【インスタレーション】

先日に終了した「ニューイ・ブランシュKYOTO 2012」における京都芸術センターでの展示も好評を博した美術家・国谷隆志の個展。ネオン管職人でもある国谷によるインスタレーションとして、ガラス面により外の風景を取り込む会場に、一見するとおおよそ抽象的な形状のネオン管を無数に配し、その存在と光りにより空間そのものを変容させる。日常に見慣れたネオンサインを、その見方(視点)を変化させて提示する事で、鑑賞者の中に認識と理解にまつわるズレを顕在化させる《Untitled (recipe#1)》を中心に構成した会場には、ステンレススチールの鏡面にグリッドを刻むことで、写り込む世界を「対象」として提示し、鑑賞者を対峙させる《Mirror Site》などを展示予定。鑑賞時間によっても作品の印象が変化するため、見るたびに受ける印象の変化をお楽しみいただけます。

会 場 Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク]  
〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル  
【Tel & Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com 【HP】http://www.galleryparc.com

アクセス 阪急河原町駅・三条京阪駅より徒歩10分、地下鉄東西線京都市役所前駅より徒歩3分。  
三条通・御幸町通の交差点北西角[グランマーブル]店舗内2階

\*\*\* 本展開催期間中につき、パルク1階カフェ[ル・グランマーブル カフェ クラッセ]に本展DMをご提示の場合、ご飲食に限り10%OFFいたします。

問い合わせ Gallery PARC [グランマーブル ギャラリー・パルク] (正木・永尾)  
〒604-8082 京都市中京区三条通御幸町弁慶石町48 三条ありもとビル[ル・グランマーブル カフェ クラッセ] 2F  
【Tel & Fax】075-231-0706 【Mail】info@galleryparc.com

関連情報 その他、国谷隆志参加展覧会情報(詳細は各主催・会場などにお問合せください)

### ■「アブストラと12人の芸術家 -HER NAME IS ABSTRA-」

[参加作家] 荒川 匡、金氏 徹平、菅 かおる、国谷 隆志、小泉 明郎、立花 博司、田中 和人、田中 秀和、中屋敷 智生、南川 史門、三宅 砂織、八木 良太

[会期] 2012年11月11日(火)~12月16日(日) 13:00~19:00

[会場] 大同倉庫(京都市中京区壬生神明町1-61) \*JRおよび地下鉄二条駅より徒歩10分

[料金] パスポート制チケット 当日¥500:前売り¥450(前売りはギャラリー・パルクでも取り扱っております)

[HP] HP:<http://abstra12.tumblr.com/>

### ■「アブストラと12人の芸術家 プレイベント」

\*11月開催の「アブストラと12人の芸術家」への参加作家(一部)によるプレイベント。展示+トークイベントなどにより、展覧会テーマへの理解を深めます。

[会期] 2012年10月20日(土)・10月21日(日) 13:00~19:00

[会場] 大同ビル(京都市中京区壬生神明町1-61) \*JRおよび地下鉄二条駅より徒歩10分

[料金] 無料

Press Release:2012.10.19

## make a mistake in choosing

国谷 隆志展 Kunitani Takashi Exhibition

2012年11月3日(土) — 11月18日(日) 11:00~19:00 月曜休廊

国谷 隆志 KUNITANI Takashi

### 【statement】

空間と私の距離

人間と空間は、深く複雑に絡み合った関係である。

空間というものの存在を考える上で、身体を抜きにすることは難しいだろう。それは、私たち人間の身体が常に空間の中に置かれているのと同時に空間を自らのものとすることによって環境を捉えているためだ。作品が身体感覚に働き掛けるとき私たちは思考によってそれを把握し、統合する。作品は単なる物質として捉えられるのみではなく、場として身体の一部となる。それは論理や認識のレベルではなく、内面的な領域へと思考を拡大していくことである。

私は、私の作品が観客の意識の中で新たな意味や世界観を創り出す装置のような機能をはたすことができればよいと考えている。観客が作品によって示される空間に立ったとき、身体を通じて観客自身の意識の中に起こる出来事は主体的であるために客観性に欠け、あまりに不確かなものかもしれない。しかし、このような場の感覚によって、「身体が、今、ここにある」ということを強く自覚する事ができると私は考えている。

私は、人間の空間への関わりにおいて、自分を取り巻く世界、物事についてのあり方を問うこと、さらに人はそれらとどのように向き合うのか、といったことに関心がある。人が占めている位置、身体、空間、時間、物の配置による人の視点や移動。これらは身体を起点とした観客自身の位置であり、場の感覚によって示されるものは、自らの存在を示すことに繋がる。作品の意味は観客の体験によって成立し、観客の参加そのものによって完成する。

あなたの存在と私の存在によって作品を完成へと導くことを、あなたの存在と私の存在の証明とする。

国谷隆志



【画像02】

Untitled (tricolour) 2012 ガラス、アルゴン、水銀

「ニュー・ブランシュ KYOTO 2012」・京都芸術センター

photo: 草木貴照

## Press Release:2012.10.19

# make a mistake in choosing

国谷 隆志展 Kunitani Takashi Exhibition

2012年11月3日(土) — 11月18日(日) 11:00~19:00 月曜休廊

### 【作家略歴】

1974 京都府生まれ

1997 成安造形大学 立体造形クラス卒業

#### 個展

2012 two passages (京都芸術センター/ニュー・ブランシュKYOTO 2012)

2011 MARS (Gallery PARC/京都)

2008 Untitled Series (Contemporary And Spirits CAS/大阪)

2007 The Vertical Horizon (大阪府立現代美術センター/大阪)

2005 国谷隆志展 (Contemporary And Spirits CAS/大阪)

2005 "a piece of work : KUNITANI Takashi Exhibition" (APS /東京)

2004 "Between Ground And Sky" (YAEMON /京都)

"What you have known for some time" (ギャラリーココ/京都)

2003 "YOUR PRIVATE SURROUNDINGS" (YAEMON /京都)

"クリテリオム54" (水戸芸術館/茨城)

"Sparkle" (ギャラリーココ/京都)

2002 "Nothing Like Object" (ギャラリーそわか/京都)

"Complete your space" (ギャラリーSEN/大阪)

2001 "Complete your space" (ギャラリーココ/京都)

#### グループ展

2011 モトコーART train (神戸元町高架下通商店街/神戸)

2010 NEW WORKS「接続熱源」(ギャラリーほそかわ/大阪)

2009 MASSIVE PROGRESSION (ギャラリーアーティスロング/京都)

2008 LOCUS (神戸アートビレッジセンター/神戸)

Art Court Frontier 2008 #6 (アートコートギャラリー/大阪)

第11回 岡本太郎現代芸術賞 (岡本太郎美術館/川崎市)

2007 Curator's Eye 2007 (ギャラリーマロニエ/京都)

2006 Look-in vol. 1 (CUBIC GALLERY/大阪)

2005 OMOTE-NASHI (YAEMON/京都)

City\_net Asia 2005 (ソウル市美術館/韓国)

2004 Premonition -S- (ギャラリーそわか/京都)

2003 TAMA VIVANT 2003 (多摩美術大学/東京)

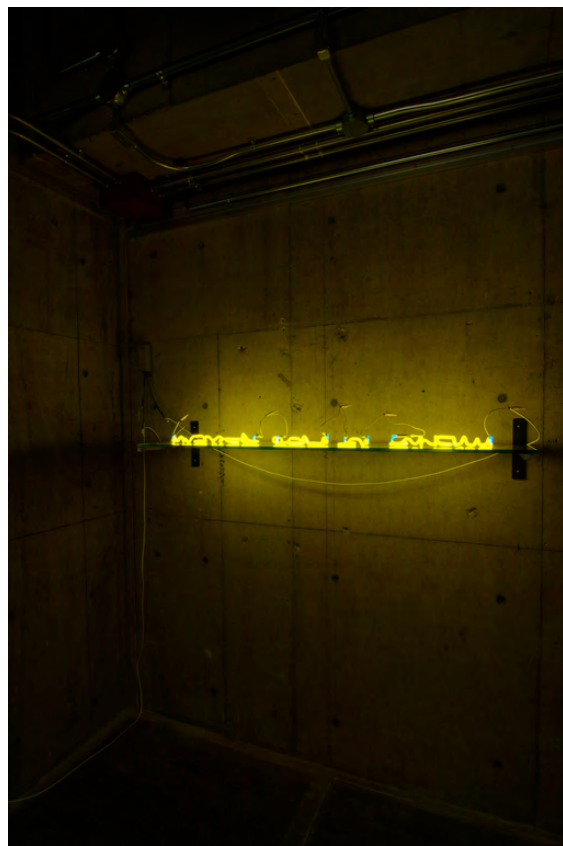
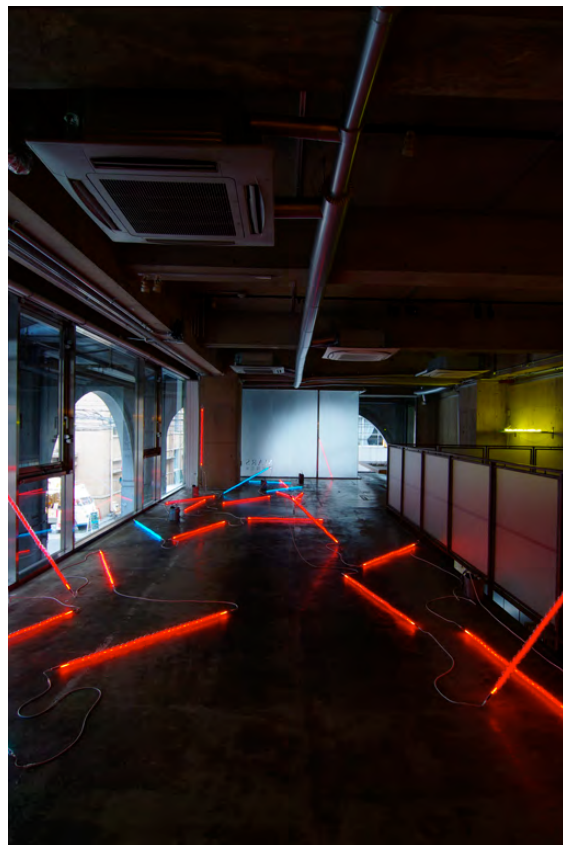
NEW GENERATION 3 (海岸道ギャラリーCASO/大阪)

2002 NEW TOWN ART TOWN (山陽団地/岡山)

2001 京都府美術工芸新鋭選抜展 ~2001新しい波~  
(京都文化博物館/京都)

コレクション: 竹中工務店東京本店

<http://takashikunitani.com/>



上から【画像03】

Spaceless Space 2011

2011 ガラス、アルゴン、水銀

「MARS」・Gallery PARC 2011

photo : 草木貴照

【画像04】

Untitled (Yellow)

2012 ガラス、アルゴン、水銀

「MARS」・Gallery PARC 2011

photo : 草木貴照